

豊橋西高等学校では、本年度の重点目標を「寛容さと愛情をもって、是々非々を毅然とした指導を貫く中で、自尊の感情と有用感を育成する。」「基礎基本を大切に分かる授業を工夫しながら展開し、指導と評価の一体化を目指す。」「安易な進路選択に流れないように本物の学力を身に付けさせ、良き社会人になるための資質の形成を目指す。」「教職員間で協働して業務に当たることで、教職員の在校時間の適正化を図るとともに多忙化を改善する。」と定め、分野別に重点目標を設定し、その達成を目指して努力してきました。年度末にあたり、2学期末に実施しましたアンケート結果（教職員・生徒・保護者）と、中学校の先生方や学校評議員の方々の御意見を踏まえて、この1年間の取組の成果と反省をまとめました。

〈学習指導〉～個々の習熟度に応じた学習指導と規律ある学校を目指して～

○ 学習指導方法の工夫と改善を図る。

各教科会において昨年度の学習マネジメントシートを本年度の授業計画に活用するとともに、来年度に向けての授業内容の振り返りと改善方法についての協議を行った。家庭学習については昨年度に比べて肯定率が5ポイント以上向上しているので、引き続き学習習慣の定着を図るべく指導を充実させていきたい。

〈進路指導〉～夢の実現を目指して～

○ 進路目標の早期確立とその実現に向けての取り組みを促す。

今年度も3年生については進路別で指導を行い、全職員体制で生徒それぞれの進路に即した指導を行うことができた。1、2年生に対しても進路講話の実施に加えて3年生の話を聞く機会を設けるなど、進路目標の早期確立に向けた取り組みを行った。今後も進路行事等を通して、生徒自身が自己の進路について具体的に考え、早期に進路目標を確立できるような指導を充実させていきたい。

〈生徒指導〉～基本的な生活習慣の確立を目指して～

- 「STOP600」をスローガンとして遅刻件数を目指す。
- 交通安全指導、いじめの早期発見などを通して命を守る。
- あいさつ溢れる、明るく活気のある学校を目指す。

遅刻の数は600を超えてしまったが、前年度に比べて大幅に減少した。今後も朝の交通当番等で遅刻生徒へ声掛けをし、遅刻数の減少に努めたい。また、普段から自然とあいさつをする生徒が増えてきているため、爽やかキャンペーンなどを通じて、あいさつ溢れる明るい環境づくりを今後も続けたい。

*「STOP600」とは、生徒の年間累計遅刻数を600回未満にする目標です。

〈生徒会〉～生徒会活動の充実を目指して～

- 生徒が学校行事に主体的に参加し自ら運営できるようにする。
- 家庭や地域に活動の様子を発信していく。

生徒会の生徒を中心に、ちきり祭ではキッチンカーや地域と連携をした催し物があり、各系列や総合の時間での取り組みの展示も行き、特色ある発表をすることができた。またクラスマッチを総合体育館で実施するという初の試みを行ったが、準備・片付け等生徒が主体的に動いていた。このような生徒の取り組みをホームページ等で発信し、西高校の魅力を伝えることができた。

〈PTA活動〉～PTAの充実を目指して～

- 持続可能なPTA活動体制づくりを進める。

今年度は、ちきり祭でのバザーなどの活動を行った。次年度も保護者の方々と連携し、より多くの保護者が気軽に参加できるPTA活動体制づくりをしていきたい。

〈防災学習〉～防災学習の充実を目指して～

○ 防災意識を向上させる。

予告なく避難訓練を実施するなど、より実践的な訓練を実施した。また、津波発生を想定した二段階避難や、停電時に放送設備が使えない場合の避難呼びかけなどを実施した。今後もプリントでの防災学習を含め、生徒が自ら適切に判断し、主体的に行動できるよう避難訓練を実施していきたい。

〈学校保健〉～落ち着いて学ぶことのできる学習環境を目指して～

○ 多様な生徒の心身の健康に配慮した適切な対応と、学習環境の整備に努める。

朝の健康観察に始まり常に全職員で健康観察を行い生徒の健康状態を確認している。教員間で情報を有し様々な専門スタッフとも連携することで、悩みのある生徒を早期に支援できるよう取り組んでいる。職員・生徒ともにごみの減量化や環境美化に対する意識を高め、ごみの持ち帰りを継続して実施する。

〈図書館活動〉～読書活動の充実を目指して～

○ 図書館利用促進のための方策を模索する。

「朝の読書」に対する生徒の肯定率は、90パーセント近い。しかし、図書の貸し出し率は高いとは言えず、特定の生徒が利用する状況が続いている。委員会活動をより活性化させ、図書館利用者を増やしたい。また、行事や授業等で図書館を有効利用できるよう、蔵書・設備の充実に心がけたい。

〈現職研修〉～教職員の資質向上を目指して～

○ 現職研修や教育実習について各分掌と連携する。

○ ワークライフバランスを意識した環境整備に努める。

現職研修についての教員の肯定率は90パーセントを超えている。より充実した研修が行えるよう、情報収集や創意工夫に努めたい。一方で、多忙化解消に向けたワークライフバランスについては50パーセントを切る肯定率である。各分掌の連携をより密にし、仕事内容の見直しを行って業務のスリム化を目指したい。

〈教育情報〉～情報セキュリティの向上を目指して～

○ 情報機器を安全に運用する。

Classiを始めとするクラウドサービスを円滑かつ安全に利用できるように努めた。また、生成AI等、日々刻々と変化する状況に対応できるよう、情報収集に努めた。授業でのICT活用も進んでいるので、安全にICTを活用できる体制づくりに取り組んでいきたい。

〈総合学科推進〉～地域と連携した教育活動を目指して～

○ 地域と連携した有意義な教育活動を推進する。

○ 効果的な広報活動を行う。

「産業社会と人間」において地元企業と連携をした探究活動を実施した。さんしゃDayでは企業や団体を訪れ、生徒が進路について考えるきっかけとなった。また、広報活動についてはHPやInstagramの更新を行った。今後も校内の活動について広く知っていただくための更新を継続し、HPやInstagramの閲覧数を増やしていきたい。

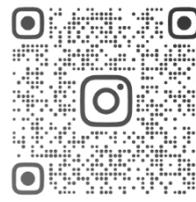
豊橋西高校のホームページ・Instagramを御覧ください。
(<https://www.toyohashinishi-h.aichi-c.ed.jp/cms/>)

学校行事や生徒の活動の様子などを紹介しています。

ホームページ



Instagram



NISHIKO_OFFICIAL